

好きな人・苦手な人と自分は似ているのか —ポジティブ・ネガティブな特性の類似性—

安藤ゼミ 橋本夏菜子

問題関心

- ◆「対人魅力」研究における、「嫌悪感情」についての研究は未だに少ない
- ◆肯定的要素が似ている人に「好意感情」を持つ
- ◆類似性は、好意感情だけでなく、嫌悪感情にも繋がるのではないか



性格特性の類似性に焦点を当てる

研究の目的

好きな人、苦手な人と自分の性格の類似性を明らかにすること

仮説① 好きな人とはポジティブな形容詞で相関が見られるものが多く、
苦手な人とはネガティブな形容詞で相関が見られるものが多い

仮説② 自尊感情が低い人ほど、好きな人、苦手な人に対してネガティブな形容詞で相関が高い項目が多い

調査概要

【調査期間】

2020年7月28日～2020年8月23日

【対象者】

18～25歳の男女161名
(男性:76名 女性:85名)

【調査方法】

質問紙調査(Googleフォーム)

【分析方法】

SPSSによる統計分析

【質問紙構成】

I. 自分自身について

- ・Big Five尺度 60項目
- ・自尊感情尺度 10項目
- ・Big Five尺度中、最も当てはまる3項目

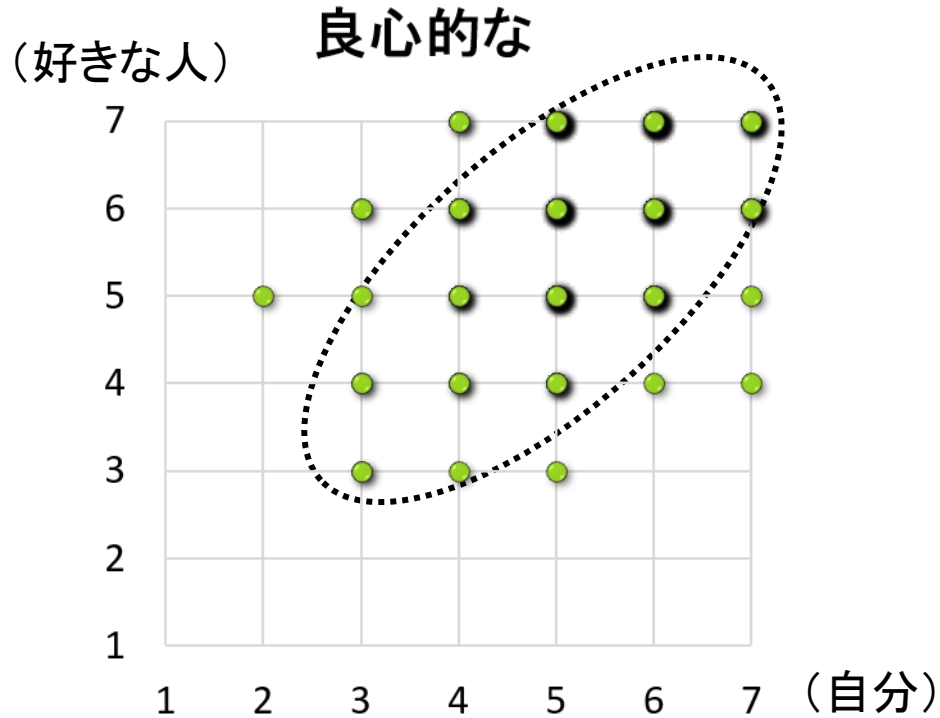
II. 好きな人について

- ・Big Five尺度 60項目
- ・Big Five尺度中、最も当てはまる3項目

III. 苦手な人について

- ・Big Five尺度 60項目
- ・Big Five尺度中、最も当てはまる3項目

結果① 自分と好きな人の相関関係



ポジティブな形容詞 14／27項目

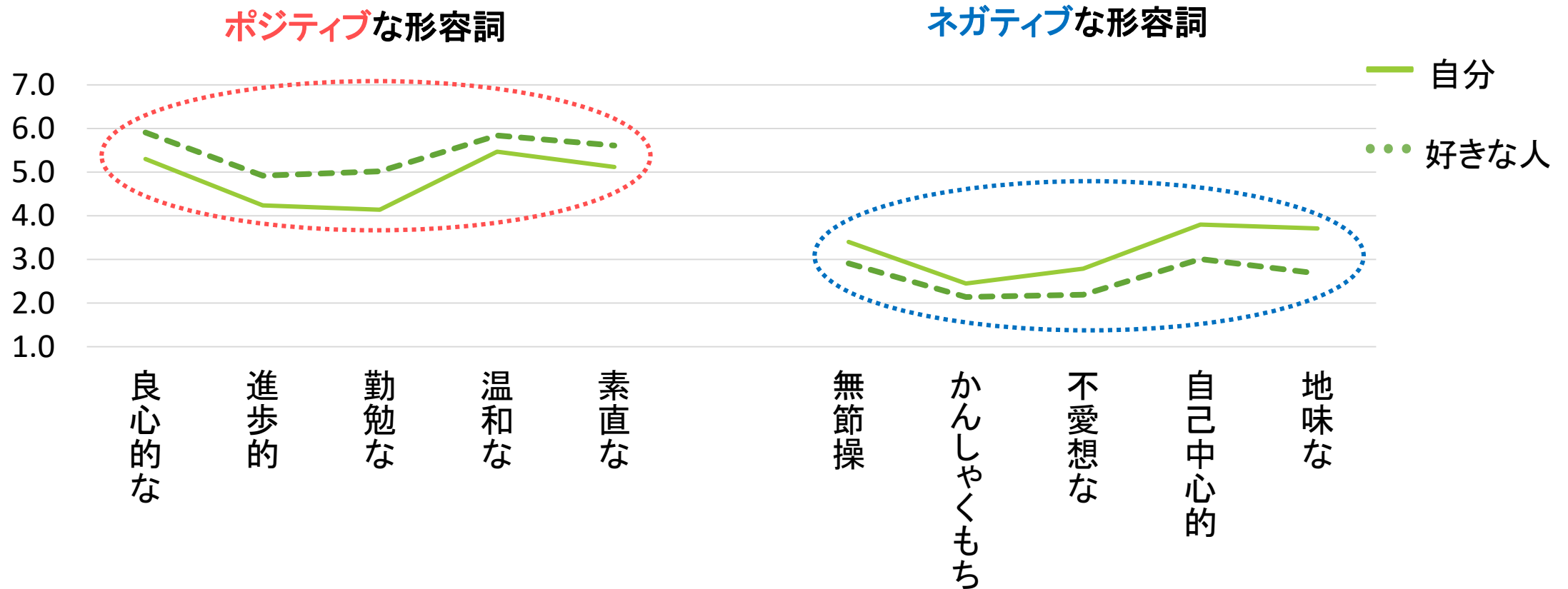
良心的な 活動的な 温和な 進歩的 協力的な
社交的 勤勉な 親切的な 素直な 独創的な
話し好き 外交的 独立した 美的感覚の鋭い

ネガティブな形容詞 17／33項目

無節操 悲観的な 反抗的 かんしゃくもち
不精な 悩みがち 不愛想な 軽率な 暗い
成り行き任せ 怠惰な いい加減な 地味な
自己中心的 とげがある 意思表示しない 人嫌い

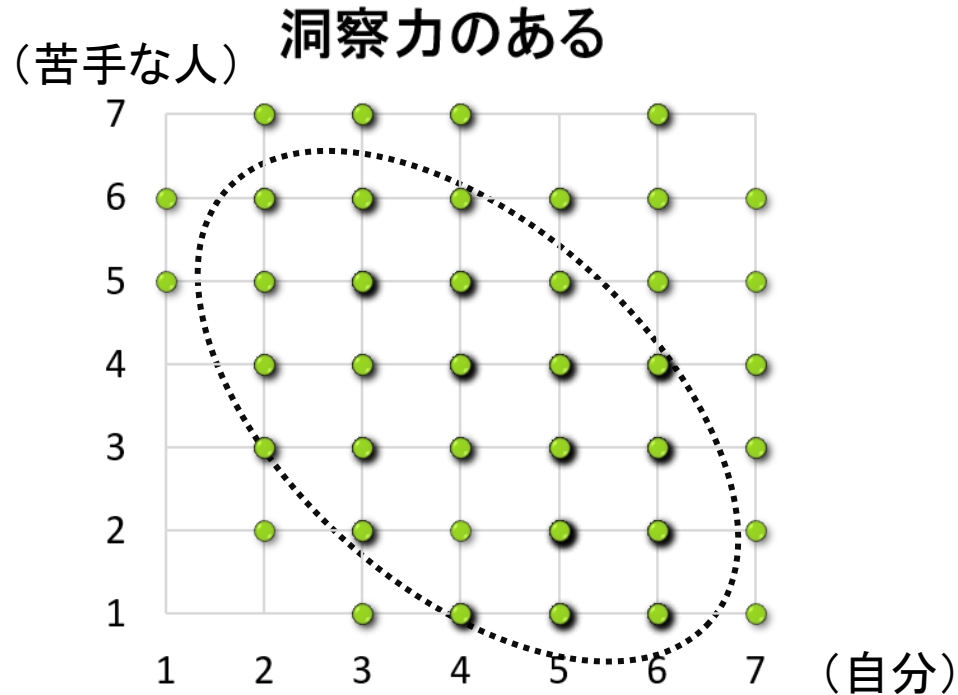
➤ すべて 正 の相関→類似度が 高い

結果②相関が見られた形容詞の平均値



ポジティブな特性→平均値が高い＝高評価での類似
ネガティブな特性→平均値が低い＝低評価での類似

結果③自分と苦手な人の相関関係



ポジティブな形容詞 4／27項目

洞察力のある 勤勉な
頭の回転の速い 温和な

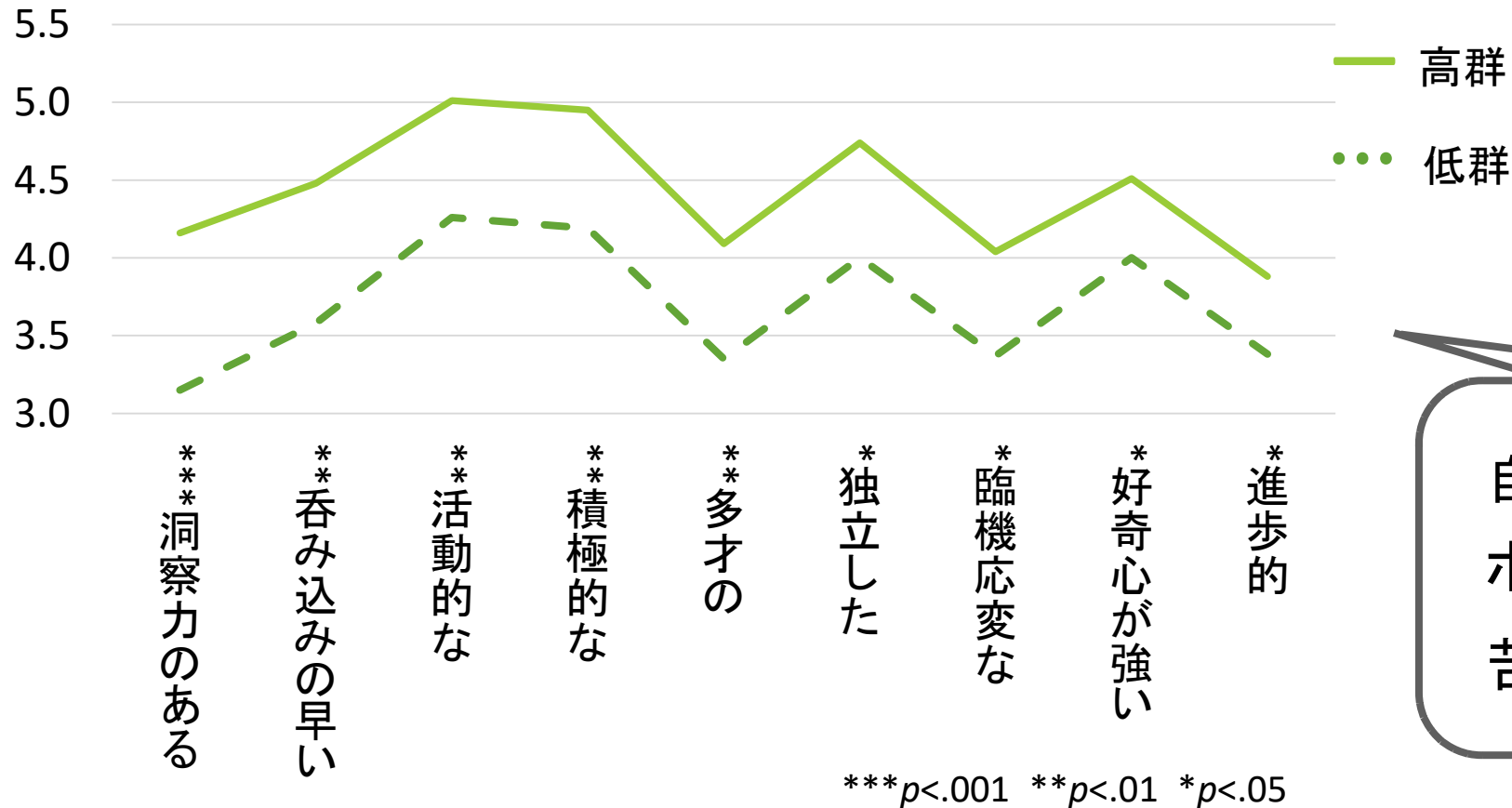
黒: 正の相関
赤: 負の相関

ネガティブな形容詞 6／33項目

神経質な 成り行き任せ
人嫌い 自己中心的
いい加減な
傷つきやすい

》 自分と苦手な人の類似度が低い

結果④苦手な人に対する自尊心別の平均値



自尊心が **高い** 人は
ポジティブ な形容詞において
苦手 な人に **高評価**

考察①

仮説①→支持△

好きな人

ポジティブな形容詞 14／27項目

ネガティブな形容詞 17／33項目

・平均値

ポジティブな特性＝互いに **高い**

ネガティブな特性＝互いに **低い**

ネガティブ な特性が互いに
当てはまらなことが重要

苦手な人

ポジティブな形容詞 4／27項目

ネガティブな形容詞 6／33項目

→ **負**の相関が多い

「自分との相違」

or

苦手な相手についてよく知らない

考察②

- ✓ 相関が見られる項目数＝自尊心別の差はなし
→仮説②支持されず
- ✓ 苦手な人に対して自尊心**高群**ほど **ポジティブ** に評価

自尊心が高い人ほど積極的に他者と関わる傾向(先行研究)
→他者と関わる中で、ポジティブな特性を認知している可能性

ご清聴ありがとうございました